

# 金沢大学(石川県)



日本社会・文化の研究、日本伝統文化体験、日本人学生との合同調査などの「日本探求」を通した実践的日本語力が習得できます。

# ■大学紹介

#### ① 大学の特色及び概要

#### 1) 特色と歴史

金沢大学は、1862年の加賀藩種痘所を源流とし、 1949年に新制の総合大学として設立されました。現 在 3学域, 17学類((1)人間社会学域: 人文学類, 法学類, 経済学類, 学校教育学類, 地域創造学類, 国際学類。(2) 理工学域: 数物科学類. 物質化学 類、機械工学類、フロンティア工学類、電子情報通 信学類, 地球社会基盤学類, 生命理工学類 (3) 医 薬保健学域: 医学類, 薬学類, 創薬科学類, 保健 学類)及び、7研究科(人間社会環境研究科、自然科 学研究科, 医薬保健学総合研究科, 先進予防医学研 究科, 法務研究科, 教職実践研究科, 新学術創成研究 科)から構成されている総合大学として、幅広い分 野での教育・研究活動の拠点となっています。金沢 大学は、全国の大学に先駆けて、1956年から外国の 大学との交流協定を締結して、学術文化の国際交流 並びに、留学生交流を推進してきました。

#### 2) 教員•学生数等 (2019年5月1日現在)

【教員数】1,035名, 【学生数】10,371名(学域·学部生:7,802名, 大学院生:2,305名,

その他, 非正規生: 264名)

### ② 国際交流の実績 (2019年5月1日現在)

交流協定校数 : 271機関(46ヶ国, 1地域) 大学間交流協定: 193機関(40ヶ国, 1地域) 部局間交流協定: 78機関(24ヶ国, 1地域)

留学生在籍数 : 666名

日本語・日本文化研修生合計受け入れ数: 328名(令和元年度受入れの25期生を含みます)

### ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本 文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

	受入れ実数		
2019年度	留学生数666名,日研生10名		
2018年度	留学生数632名,日研生15名		
2017年度	留学生数585名,日研生13名		

#### ④ 地域の特色

金沢市は古くからの城下町で、今まで大きな災害に遭わなかったため、昔の建物などが多く残っています。 伝統工芸、古典芸能の盛んな、文化の香り高い日本的な雰囲気を有し、四季の移ろいを実感できる街です。

# ■研修・コースの概要

- ① 研修・コースの目的
- (a) 主に日本事情・日本文化に関する研修
- ② 研修・コースの特色

金沢大学日本語・日本文化研修プログラムは参加学生の日本語能力ならびに研究能力の向上、及び日本社会・文化に対する理解を促進することを目的とした全学習を日本語で行う1年間のプログラムです。

## ③ 受入定員

15名 (大使館推薦:5名、大学推薦:10名)

#### ④ 受講希望者の資格、条件等

本プログラムの受講を出願する者は、以下の要件を 満たす者とします。

日本語能力:日常生活に必要な日本語能力(日本語 能力試験N2合格程度)を有し、平易な文章の読み書 きができる者

所属学部・学科:海外の大学において,日本語・日本文化に関する分野を専攻している者

学年: 海外の大学において3.4年次に在学中の者

学習姿勢:日本研究に対し意欲的であり、1年間積極的な姿勢で本コースの学習に専念する意志を有する者

#### ⑤ 達成目標

修了時点で日本語能力検定N1レベルの日本語力, ならびに大学院進学に必要な研究能力の習得を目指します。

### ⑥ 研修期間 (在籍期間)

2020年9月下旬~2021年8月下旬 (2020年10月1日~2021年8月31日)

### ⑦ 奨学金支給期間

2020年10月~2021年8月



兼六康

⑧ 研修・年間スケジュール 授業期間:10月~2月(秋学期)

4月~8月(春学期)

修了研究(発表練習, 論文作成)期間:8月1日~8月

31日

9月下旬:渡日(2019年は9月24日)

9月下旬: 開講式、オリエンテーション

10月:里親対面式

11月:里親とのバス旅行

11月または12月: 留学生懇談会

12月:修了研究構想発表会

4月:修了研究中間発表合宿

8月初旬:修了研究発表会

8月中旬: 論文提出締切

8月下旬:修了式

8月下旬:帰国



授業の様子

#### ⑨ コースの修了要件

必修授業科目の履修・合格,並びにプログラム終了時の修了研究の口頭発表及び論文提出が修了要件です。 本研修プログラム修了者に修了証書を授与します。また,履修した授業科目,成績評価及び単位数が記載された成績証明書を交付します。

本プログラムの構成は次のとおりです。なお、1科目 (2単位) は15コマ(1回90分) の講義から成ります。

	単位数	
必修授業科目	秋学期	春学期
日本語	20	
日本文化演習I	2	2
日本文化演習Ⅱ	2	2
日本文化・社会学習	2	選択
調査実習	2	選択
修了研究演習	2	2
修了研究論文及び研究発表	_	4
合計	40	



能登旅行

#### ⑩ 研修・コース科目の概要・特色

#### 1) 研修・コース科目の特徴

本プログラムでは、修了研究論文を最も重要なカリキュラムとして位置付けています。修了時点で、参加学生は大学院に進学するために必要な研究能力を身につけることを目指します。

#### 2) 研修・コース開設科目

#### I)必須科目

日本語科目(秋・春学期 合計150コマ) レベル別日本語、漢字及び技能別日本語の授業

日本文化演習 I (秋・春学期 各15コマ) 学内外の専門家による日本語・日本文化についての講義

**日本文化演習Ⅱ(秋・春学期 各15コマ)** 演習形式による発表・ディスカッション

日本文化・社会学習(秋学期 15コマ、春学期は選択) 金沢の豊かな伝統文化の体験、および現代日本社会についての学び

### 調査実習 (秋学期 15コマ、春学期は選択)

研究方法論や日本語によるプレゼンテーションスキルの 習得

**修了研究演習(秋・春学期 各15コマ)** 研究方法の習得

### 修了研究論文及び研究発表 (春学期 30コマ)

口頭研究発表、修了研究論文の提出

### Ⅱ)選択科目

## 正規授業科目の履修(秋・春学期)

学部正規生向けに開講している一般授業科目の履修

#### 3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る 科目及びその具体的な内容

#### 「伝統工芸と職人の技」

北陸地域の漆工芸や和紙を鑑賞しながら、職人の技と 精神を実体験します。

#### 「現代アートとデザイン」

ワークショップや アーティストとの対話、21世紀美術館見学などを通じて、受講生の金沢の現代アートとデザインに関する理解を深めます。

#### 「日本の社会と伝統文化」

金沢の伝統美術・工芸の文化体験を通じ、何百年もの間、匠達の手によって代々継承されてきた技能の一端を垣間見ることで、日本文化に対する多角的な観点を形成します。

# 「ユネスコジオパークとエコパーク」

白山麓の地域をフィールドにし、地域の人々の伝統的 な生活様式を体験したり、地域課題や地域再生に向け ての様々な取り組みを紹介します。

#### 「サービス業や福祉施設にみるおもてなしの心」

金沢の料亭や保育園、高齢者介護福祉施設などを訪問し、その業務の一部を学生にも体験してもらいます。

「日本と金沢の建築・都市、これまでとこれから」 金沢をはじめ日本の建築とまち、人の営みとまちの関 連性について理解を深め、建築・都市と文化・経済・ 歴史の相互関係を理解します。



加賀友禅体験

#### 4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

#### 「調査実習」

日本人学生と合同で小グループを形成し、比較文化的な観点から日本社会・文化についての合同調査・研究を行います。

#### 「日本文化演習Ⅱ」

この科目は日本文化演習 I で扱った各テーマに関して、日本人学生も交えて演習形式による発表・ディスカッションを行います。

#### ① 指導体制

指導教員:

山本 洋

(国際機構留学生教育部・准教授、専門:歴史学、文学) 峯 正志

(国際機構留学生教育部·教授, 専門:言語学)

本プログラムの参加学生は留学生教育部に所属し、プログラム担当教員が指導教員として学生の学業・生活指導に当たります。研究指導、発表及び論文作成指導を定期的に個別・全体で実施します。なお、様々な専攻の学生の受入を可能にするために、研究指導を行う際に、人間社会学域等のその専門に応じた教員の協力を得ることもあります。日本語担当教員及び日本文化科目の講義担当の学内教員の合計数は約30名にも上ります。

# ■宿 舎

本プログラムの参加学生は以下のいずれかの宿舎に入 居できます。

#### 1) 金沢大学国際交流会館

(キャンパス内にある金沢大学の留学生及び外国人研究者用の居住施設。単身者に限ります) 寄宿料、光熱水費:月額約3万円

#### 2) 金沢大学学生留学生宿舎「先魁」

(キャンパス内にある金沢大学の学生及び留学生及の 居住施設。単身者に限ります) 寄宿料、光熱水費:月額約3万円

#### 3) 金沢大学学生留学生宿舎「北溟」

(キャンパス内にある金沢大学の学生及び留学生及の 居住施設。単身者に限ります) 寄宿料、光熱水費:月額約3万8千円

# ■修了生へのフォローアップ

本プログラムの修了生は、所属大学に戻り学位を取得後、大半が大学院へ進学します。さらに大学院進学者の約半数程度は、本学もしくは日本国内の他大学の大学院へ進学しています。その他、日本で日本企業に就職したり、母国で日系企業に就職するなど、ほとんどの修了生が日本とかかわりのある仕事に就いています。

# ■問合せ先

<担当部署>

金沢大学国際部留学企画課留学支援係 〒920-1192 石川県金沢市角間町

TEL: +81-76-264-6178 FAX: +81-76-234-4043

E-mail: st-exch@adm. kanazawa-u. ac. jp

#### **くウェブサイト>**

金沢大学留学生教育部:

http://kuglobal.w3.kanazawa-u.ac.jp/sie/

### 日研ホームページ:

http://kuglobal.w3.kanazawau.ac.jp/news/other/1533/

#### 金沢大学:

http://www.kanazawa-u.ac.jp/

### <担当教員連絡先>

山本 洋 准教授

E-mail: yama@staff.kanazawa-u.ac.jp

峯 正志 教授

E-mail: mmine@staff.kanazawa-u.ac.jp



# KANAZAWA UNIVERSITY (ISHIKAWA PREFECTURE)



# ACQUISITION OF JAPANESE LANGUAGE PROFICIENCY THROUGH INDIVIDUAL RESEARCH, JOINT STUDIES AND HANDS-ON EXPERIENCES WITH JAPANESE SOCIETY AND CULTURE

#### **♦**University Overview

#### (1) Outline of Kanazawa University

#### 1) History and Features

Kanazawa University was founded in 1949 as one of the new national universities, by uniting and reorganizing eight of the high education institutions then in operation, including Kanazawa Medical College, which dates back to 1862. The university has continued to expand since, and now has a total of 3 colleges and 17 schools on its two campuses (Kakuma and Takaramachi): (1) College of Human and Social Sciences consisting of the School of Humanities, School of Law, School of Economics, School of Teacher Education, School of Regional Development Studies and School of International Studies, (2) College of Science and Engineering consisting of the School of Mathematics and Physics, School of Chemistry, School of Mechanical Engineering, School of Frontier Engineering, School of Electrical, Information and Engineering, Communication School Geosciences and Civil Engineering and School of Biological Science and Technology. (3) College of Medical, Pharmaceutical and Human Sciences consisting of the School of Medicine, School of Pharmacy, School of Pharmaceutical Sciences and School of Health Sciences. It also has 7 graduate schools offering degrees in Socio-Environmental Studies, Natural Science and Technology, Medical Science, Advanced Preventive Medical Science, Law, Professional Development in Teacher Education and Frontier Science Initiative.

2) Number of Academic Staff and Students (As of May 1, 2019)

Number of Academic Staff: 1,035 Number of Students: 10.371

(Undergraduate: 7,802, Graduate: 2,305, Other and Non-

degree: 264)

2 International Links (As of May 1, 2019) Partner Institutions: 271 (46 countries, 1 region) University-Level: 193 (40 countries, 1 region) Department-Level: 78 (24 countries, 1 region)

Number of international students: 666

Total number of Japanese Language and Culture Program students accepted: 328 (including students of year 2019)

# 3 Total number of International students and Japanese Language and Culture Program students in the last three years

	International students	Japanese Language and culture program students
2019	666	10
2018	632	15
2017	585	13

### 4 Features of the city

Kanazawa is one of the largest cities on the Japan Sea coast, which still retains the calm atmosphere of an old castle town through its old architecture and rich traditional culture. It is well known for its traditional arts and crafts. classical performing arts and for the famous Japanese garden at Kenrokuen. The four seasons adorn Kanazawa, with the surrounding sea and mountains further emphasizing its natural beauty.

#### **♦** Program Outline

# 1 Purpose of the course

(a) A course intended mainly to study about Japan and Japanese culture

### 2 Unique aspects of the course

This program aims to provide students from overseas with an opportunity to improve their proficiency in Japanese language and research skills as well as deepening their understanding of Japanese culture and society. It is a one year program conducted solely in Japanese.

3 Number of Students to be accepted: 15 (Embassy nominees: 5, University nominees: 10)

### **4** Qualifications and Requirements for Application Applicants must satisfy the following conditions:

- 1) Applicants must have sufficient Japanese language ability to converse, read and write basic Japanese (a level equal to that of Japanese Language Proficiency Test Level N2).
- 2) Applicants should be majoring in a field relevant to Japanese language or culture in their home university.
- 3) Applicants must be a junior or a senior student at their home university.
- 4) Applicants should be prepared to devote themselves to studies of this program throughout the year. Enthusiasm regarding research work and class participation is a must.

#### (5) Aim of the Course

Students should strive to master their field of research and have an aptitude in Japanese equivalent to N1 at the completion of their stay.

#### 6 Course Duration

From late September 2020 to late August 2021

#### Period of enrollment

From October 1, 2020 to August 31,2021

#### (7)Scholarship period

From October 2020 to August 2021

# **8** Events and Schedule Semesters :

October - February (Autumn Semester)
April – August (Spring Semester)
Oral Presentation Practice and Report Writing

Period : August 1 - August 31

- Late September: Arrival in Japan (In 2019, the date of arrival was September 24.)
- Late September: Opening Ceremony Program Orientation
- October: Meeting with Sato- oyaNovember: Bus Trip with Sato- oya
- November or December: International Students Gathering
- December: Presentation of Research Plan
- April: Interim Presentation Camp
- Early August: Oral Presentation of Completion Research
- Mid August: Research paper must be completed
- Late August: Closing Ceremony- Late August: Returning home

# **©**Conditions for Completion of the program, and Completion Certificates

In order to complete the program successfully, students must pass all compulsory courses, give a public oral presentation at the end of the program on their respective research topics, and submit a research paper on the same topic.

A completion certificate will be issued to those who have successfully fulfilled the aforementioned conditions. In addition to this certificate, students will be provided with an academic transcript in which their grades for Japanese Language classes and compulsory courses of the program and other courses taken will be recorded.

The program courses are outlined below. Every Compulsory Course consists of 15 lecture classes earning 2 credits per 90 minutes class.

COMPUL CORY COURSES	Credits	
COMPULSORY COURSES	Autumn	Spring
Japanese	20	
Japanese Culture Seminar I	2	2
Japanese Culture Seminar II	2	2
Program for the Studies on Japanese Culture and Society	2	Elective
Survey and Training Seminar	2	Elective
Completion Research Seminar	2	2
Completion Research Paper and Presentation	-	4
Total	40	

#### **(II)** Outline of curriculum

#### 1) Major component of curriculum

Out of the entire curriculum, the Completion of a Research Paper is the most important component. Students are expected to have acquired the research capabilities required to advance to graduate school when completing this program.

# 2) Courses of curriculum

# I ) Compulsory Courses

# Japanese Language Course (Autumn and Spring: 150 classes in total)

Level-based classes; Kanji classes; skill-type-specific classes

# Japanese Culture Seminar I (Autumn and Spring: 15 classes each)

Lectures given by specialists from in and outside the university on various topics relating to Japanese language and culture

# Japanese Culture Seminar II (Autumn and Spring: 15 classes each)

Presentations and discussions by participating students

# Program for the Studies on Japanese Culture and Society (Autumn: 15 classes, Spring: Elective)

Experience-based programs to learn about Kanazawa's rich traditional culture; study on contemporary Japanese society

# Survey and Training Seminar (Autumn: 15 classes, Spring: Elective)

Guidance on research methodology and on improving presentation skills in Japanese

# Completion Research Seminar

(Autumn and Spring: 15 classes each)

Instructions on research methods and approaches

# Completion Research Paper and Presentation (Spring: 30 classes)

Research project involving an oral presentation and submission of a paper

#### II) Elective Courses

# Courses offered by other faculties (Autumn and Spring)

Students are eligible for some of the courses offered within the regular curriculum of the faculty.

3) Programs providing an opportunity to visit local sites and interact with the local people

# Traditional Arts & Crafts and their Techniques

Learn about the Hokuriku region's distinctive craftsmanship represented by local specialty lacquerware and traditional Japanese paper products, and engage in hands-on crafting activities.

# **Contemporary Art and Design**

Deepen understanding about the contemporary art and design situation of Kanazawa City, mainly through participating in workshops, engaging in dialogue with artists, and visiting the 21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa.

#### **Japanese Society and Traditional Culture**

Gain cultural experience from contact with traditional arts and crafts creation activities in Kanazawa, looking to obtain a glimpse of precious artisanship that has been handed down by great masters over the generations, thereby diversifying viewpoints on Japanese culture.

#### **UNESCO Geo-parks and Biosphere Reserves**

Conduct field research in areas at the foot of Mt. Hakusan, looking into local traditional lifestyles through experience and learning about regional issues and revitalization efforts.

# The "Omotenashi" Spirit in The Service Industry of Japan

Visit traditional Japanese-style restaurants, nursery schools, care homes for the elderly, and other facilities operating in Kanazawa, and obtain workplace experience to learn about the respective services.

# Architecture and the City in Japan: from the Past to the Future

Study relationships among architecture, town planning and lifestyles that are specific to Japan including Kanazawa, thereby deepening understanding of interrelationships between architecture, town development, culture, economy and history.

# 4) Common curriculum to Japanese and international students

#### **Survey and Training Seminar**

Conduct cross-cultural surveys and research on Japanese society and culture in mixed groups with Japanese students.

### Japanese Culture Seminar II

Deliver presentations and engage in discussions jointly with Japanese students on themes introduced in Japanese Culture Seminar I.

#### **(II)** Advisory System

#### Hiroshi Yamamoto

(Associate Professor, School of International Education, Organization of Global Affairs, specialty : History, literature)

#### Masashi Mine

(Professor, School of International Education, Organization of Global Affairs, specialty: Linguistics)

Supporting Academic Staff: 30 (Japanese teaching staff and members of other faculties giving lectures in Culture Seminars)

The chief coordinator of the program serves as the academic supervisor and provides the students with guidance and academic advice on carrying out their respective research, preparing for presentations and writing their reports, both individually and at class.

Assistance of faculty members from the College of Human and Social Sciences might be obtained in giving academic advice on certain research topics. Individual guidance is also provided on selecting elective courses each semester.

The chief coordinator of the program can provide the students with advice on student life. Furthermore, they are able to use the counseling system available to all international students.

#### **♦** Accommodation

Students will stay in one of the three accommodation facilities given below.

1) Kanazawa University International House Located within the campus, accommodating international students and researchers studying at Kanazawa University (only single rooms are available). Rent and Utility fees: Approx. ¥30,000

2) Kanazawa University Student/International Student Dormitory "SAKIGAKE"

Located within the campus, accommodating international students and researchers studying at Kanazawa University (only single rooms are available).

Rent and Utility fees: Approx. ¥30,000

3) Kanazawa University Student/International Student Dormitory "HOKUMEI"

Located within the campus, accommodating international students and researchers studying at Kanazawa University (only single rooms are available). Rent and Utility fees: Approx. ¥38,000

# ♦ Follow-up

Every year, after obtaining a degree at their home universities, about half of the students who have completed this program come back to Japan and enroll in a graduate school of Kanazawa University or other universities. Also, most of the other students find a job as a translator or as an employee in a Japanese company.

#### ♦ Contacts

Kanazawa University, International Student Section, International Student Exchange Division, International Relations Department Address: Kakuma-machi, Kanazawa 920-1192, Japan

TEL: +81-76-264-6178 FAX: +81-76-234-4043

E-mail: st-exch@adm.kanazawa-u.ac.jp

Kanazawa University School of International education Homepage http://kuglobal.w3.kanazawa-u.ac.jp/eg/

#### **NIKKEN Homepage**

http://kuglobal.w3.kanazawau.ac.jp/eg/sie/program/language\_culture/

Kanazawa University Homepage <a href="http://www.kanazawa-u.ac.jp/e">http://www.kanazawa-u.ac.jp/e</a>

E-mail Address of the Program Coordinators: yama@staff.kanazawa-u.ac.jp

mmine@staff.kanazawa-u.ac.ip